

## 平成25年度公募型補助金補助対象事業が決定しました

H25.4.1 まちづくり推進課

これから活動を始めたい、または新たな事業展開を図りたいという、市民活動団体のみなさんの発想や特性を活かした公益的な活動を応援することを主な目的に公募した標記事業について、1団体から1事業の応募がありました。その後、竹原市公募型補助金審査会において審査した結果、以下の事業を採択しましたのでその結果をお知らせします。

申請団体	竹原市保育連盟
事業名称	「伝承遊び」を伝えよう
交付決定額	200,000円（補助率1/2）
目的	手遊びやリズム遊びなどの「伝承遊び」の方法やねらいを広く普及啓発するとともに、保育の中に積極的に取り入れ、より充実した保育の提供を図る。
事業	本連盟加入保育所を巡訪し、年齢別の伝承あそびの方法、ねらいなどの活用を撮影し、映像の記録としてDVDに残すとともに、保育士の研修資料への活用や子育て支援団体へ普及・啓発する。

### ○審査選考の概要

竹原市公募型補助金審査会では、事前に示したとおり以下の項目により審査しました。この審査にあたっては、事前の書類審査と審査会における団体のプレゼンテーションなどを行いました。

（審査項目）

必要性 公益性	社会情勢や本市の現状と課題を的確に捉えているか。
	事業の成果は、多くの市民の利益につながるものであるか。
継続 発展性	民間や団体の特性（強み）が発揮されているか。
	補助終了後に、事業の継続実施、または事業成果の活用を見込める企画となっているか。
実現性	補助終了後に、事業の継続実施、または事業成果の活用を見込める体制となっているか。
	実行可能な方法、スケジュール、予算で事業計画が立案され、対象経費の内容、補助金の申請額は、妥当であるか。
先駆性 独創性	団体に、事業の目的達成に向けた熱意や工夫があるか。
	他に先駆けた事業を提案しているか。事業の内容等にどの程度独創性（新たな視点、発想）が認められるか。
事業の 効果	費用対効果が認められるか。
	事業内容が、市の施策や他の市民活動への波及効果をもたらすことが見込まれるか。